

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容	設問形式
A I 方式 1月19日 問題▶P.69~	第一問	評論	鈴木忠志 『演劇とは何か』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択 接続語 文脈判断) 内容把握
	第二問	評論	浦久俊彦 『138億年の音楽史』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択 文脈判断) 語句の意味(慣用句を含む) 内容把握 内容合致判定
A I 方式 1月20日 問題▶P.73~	第一問	評論	大澤真幸 『人間社会への(非)適応的進化』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択) 語句の意味 内容把握 論旨合致判定
	第二問	随筆	浅田次郎 『君は嘘つきだから、小説家にでもなればいい』	漢字(選択) 語句の意味 理由把握 内容把握 内容合致判定
A II・III方式 2月4日 問題▶P.77~	第一問	評論	沼野充義他 『文学の愉しみ』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択) 語句の意味 内容把握
	第二問	評論	新保祐司 『産経新聞 正論』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択 四字熟語) 内容把握 理由把握 内容合致判定
B方式 2月20日 問題▶P.81~	第一問	評論	西部邁 『精神の成熟地としての田園』	漢字(選択) 語句の意味 空欄補充(適語選択 文脈判断) 内容把握 内容合致判定
	第二問	随筆	辰濃和男 『四国遍路』	漢字(選択) 語句の意味(慣用句を含む) 空欄補充(適語選択) 内容把握 文学史

傾向

全て現代文からの出題で、基本・標準レベルの問題が中心。

1 出題形式

現代文からだけの出題。全てマークシート方式の選択問題で、四者択一、五者択一が多いが、六者から複数の正解を選ぶ問題もある。マーク数は、28~31程度。

2 出題内容

評論は必出だが、第二問では随筆が出題される場合もある。小説文などの出題はない。全体として、漢字や語句など、知識を問う出題のあとに、読解問題が続くという構成となっている。漢字は、同じ漢字を使う熟語を選ぶ形式で、同音異義語が絡んでいる場合がある。空欄補充問題は、文章の内容を理解して適語を選ぶもので、一部には、接続語などを選ぶものもある。語句の意味では、一部に慣用句の知識が必要になるものが出題されている。

読解問題は、文中での意味を問う基礎的な問題から、内容

合致判定の問題、さらに、主旨や論旨との合致問題なども出題されている。

3 難易度

知識問題、読解問題ともに極端な難問はなく、基本から標準レベルの問題である。知識問題では、問題文の内容との関連を考えた上での文脈判断が必要な問題も多い。読解問題では、選択肢を選ぶ根拠が問題文中に明示されているものが多く出題されている。文章全体から読み取った主旨や論旨を問う問題も出題されているので、文章全体の内容や構成、筆者の意見はもちろん、筆者の出した結論も的確に把握する必要がある。

また、選択肢相互の微妙な違いを見分けることが必要な問題も出題されている。文章の内容をよく読み取り、選択肢と注意深く照らし合わせるようにしたい。

対策

国語に関する総合的な知識と正確な読解力を獲得しよう。

1 論理的な文章に親しもう

評論と、筆者の考えが述べられた随筆が出題されている。新聞に掲載された文章もあった。さまざまな分野の論理的な文章に親しんでおくことが望ましい。

2 漢字・語句の幅広い知識を身につけよう

漢字、語句の問題は頻出。漢字は、同音異義語に絡む形での出題が多いので、何となくではなく、文脈に応じて正確に使い分けられるようにしておく必要がある。語句の意味を問う問題も幅広く出題されているので、わからない語句は辞書をこまめに引き、意味を確認する習慣をつけよう。また、評論でよく用いられる難解な語句でも、漢字から意味を推測して読み取れるように、基礎的な漢字を身につけておこう。

3 正確な読解力を身につけよう

まず、指示語の指す内容をとらえる、接続語の適切な使い方を身につけるといった基礎力を養う必要がある。その上で、文章の内容を、正確に選択肢と照らし合わせることができるようになる。「理由—結論」「筆者の主張—比喩や具体例」「二つの内容の対比」「複数のキーワードの関係性」などに注意して、内容をとらえられるようにしておきたい。

4 多くの類題に取り組もう

類題を多く解いて、実践力を高めよう。読解のスピードアップにも取り組むのが望ましい。